

保険料収入の減少により 経常収支で赤字決算

○一般勘定（健康保険分）

収入合計	22億4,421万円
支出合計	21億3,633万円
収支差引額	1億 788万円
経常収支差引額	▲6,961万円

6月20日に開催された第116回組合会、当組合の令和3年度決算が可決・承認されましたので、その概要をお知らせします。

一般勘定（健康保険分）

令和3年度は、前年度の保険料率を維持して事業運営を行った結果、収支差引では1億788万円の黒字決算でしたが、経常収支では6、961万円の赤字決算となりました。

収支状況をみると、保険料収入の20億3、253万円に対して、支出では保険給付費が9億1、349万円、高齢者医療制度等への納付金が総額で9億4、056万円となりました。前年度に比べ、保険給付費が1、715万円増加、納付金が1、305万円減少しています。保険料収入は1億352万円減少しており、保険給付費と納付金の合計額が保険料収入に占める割合は、前年度より大幅に増加し、約91.2%となっています。

健診をはじめ皆さまの健康づくりに資する保健事業費には1億8、944万円を支出しています。皆さまには当組合の保健事業を積極的に活用され、ぜひ健康寿命の延伸に役立てていただきたいと思っています。

先般、健康保険組合連合会（健保連）が発表した「令和4年度健康保険組合予算早期集計結果」によると、組合全体の約7割にあたる963組合が赤字予算を編成し、経常収支差引額は2、770億円の赤字となることがわかりました。

また、平均保険料率は9・26%で、保険料率を引き上げた組合は145組合となりました。これらの背景には新型コロナウイルス感染症拡大による健保財政への大きな影響が考えられます。

高齢者等拠出金は、前年度に比べ2、080億円と大きく減少しましたが、これは新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う令和2年度の高齢者医療費の一時的な減少により、2年後（令和4年度）の高齢者拠出金精算時の返還額（戻り分）等の影響を受けた、令和4年度限りの一時的かつ極めて異例なものともみられています。

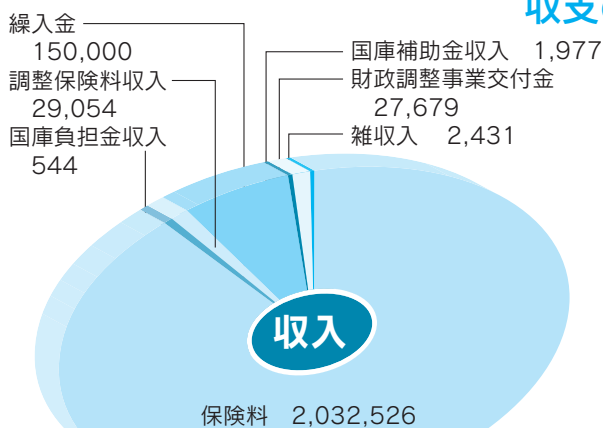
さらに令和5年度以降は、今回の一時的・限定的な拠出金減少の反動に加え、「団塊の世代」が75歳に到達し始めることにより、後期支援金が増加局面を迎えるため、拠出金全体が急増することが見込まれています。

当組合におきましても、令和3年度は被保険者数及び賞与等の減少に伴う保険料収入減少の影響で赤字決算となりました。上記の納付金の増加傾向に加え、高額薬剤の保険適用などによる医療費の増加等、今後も厳しい状況が続くものと予想されます。

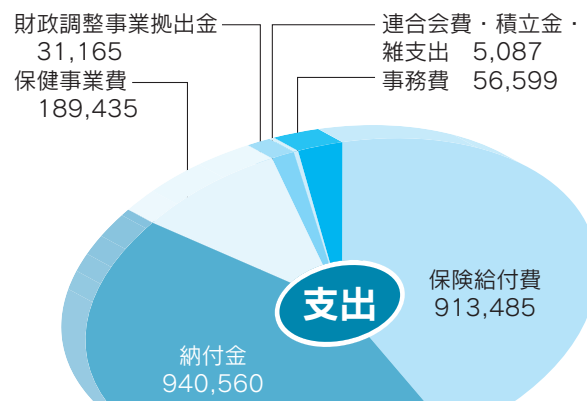
本年度も疾病予防や特定健診・特定保健指導を保健事業の中心に据え、日々、組合員の健康管理に対する取り組みを進め、引き続きジェネリックの使用促進をはじめ医療費通知の発行など、財政健全化への取り組みを行ってまいります。皆さまにおかれましては医療費適正化へのご理解・ご協力をお願いいたします。

収支のわりあい

（単位：千円）



収入合計 2,244,211千円



支出合計 2,136,331千円

決算総額 22億4,421万円

令和3年度 収入支出決算概要表

収入

科 目	決算額(千円)	被保険者1人当たり額(円)
保 険 料	2,032,526	506,485
国庫負担金収入	544	136
調整保険料収入	29,054	7,240
繰 入 金	150,000	37,379
国庫補助金収入	1,977	493
財政調整事業交付金	27,679	6,897
雑 収 入	2,431	606
合 計	2,244,211	559,236

経常収入合計	経常支出合計	経常収支差引額
2,035,557千円	2,105,166千円	▲69,609千円

支出

科 目	決算額(千円)	被保険者1人当たり額(円)
事 務 費	56,599	14,104
保 険 給 付 費	913,485	227,631
{ 法定給付費	884,572	220,427
{ 付加給付費	28,913	7,205
納 付 金	940,560	234,378
{ 前期高齢者納付金	425,058	105,920
{ 後期高齢者支援金	515,484	128,454
{ 病床転換支援金	1	0
{ 退職者給付拠出金	17	4
保 健 事 業 費	189,435	47,205
財政調整事業拠出金	31,165	7,766
連合会費・積立金・雑支出	5,087	1,267
合 計	2,136,331	532,353

令和3年度主要 保健事業

▼疾病予防

- ・人間ドック 被保険者 2,777名
被扶養者（配偶者） 611名
（4月1日時点で30歳以上の被保険者および被扶養者の配偶者の方を対象）
- ・婦人科検診 子宮頸癌 941名
乳癌 エコー 834名 マンモ 598名
- ・50歳以上の男性 前立腺 847名
（人間ドック受診時に併せて実施）
- ・インフルエンザ予防接種 被保険者 2,584名
被扶養者 626名
（被扶養者は、1,000円を上限に補助）
- ・保健師による健康相談（被保険者対象） 延べ271名

▼特定健康診査

- ・特定健康診査（人間ドック受診者を含む）
被保険者 1,917名 被扶養者 518名
（年度内に40歳になる被保険者および被扶養者の方を対象）

▼特定保健指導

- ・特定保健指導 延べ1,740名
動機づけ支援 436名 積極的支援 1,304名
（人間ドック等の健診結果による対象者の方）

▼保健指導宣伝

- ・医療費のお知らせ
（毎月）健康増進支援Webサービス「Pep Up」による通知
（年間）紙による通知
- ・ジェネリック医薬品との差額通知
（年4回 6月、9月、12月、3月）
健康増進支援Webサービス「Pep Up」による通知
- ・育児雑誌の配付 56件（新生児誕生の家庭を対象）
- ・育児指導書の配付 32件（第一子を妊娠または出産した家庭を対象）
- ・若年層の保健指導 延べ380名（30歳～39歳の被保険者を対象）

▼体育奨励

- ・ウォーキング・キャンペーン
第9回 参加者 977名 目標達成者 602名
第10回 参加者 1,025名 目標達成者 662名
（被保険者を対象50万歩を目標に実施）

令和3年度 収入支出決算概要表（介護保険分）

収入

科 目	決算額(千円)	介護保険第2号被保険者たる被保険者等1人当たり額(円)
介 護 保 険 収 入	202,726	109,998
繰 入 金	39,000	21,161
雑 収 入	2	1
合 計	241,728	131,160

支出

科 目	決算額(千円)	介護保険第2号被保険者たる被保険者等1人当たり額(円)
介 護 納 付 金	235,321	127,684
合 計	235,321	127,684



国に代わって保険料徴収を行っている介護勘定の決算では、介護保険収入2億273万円に繰入金3、900万円等を加えた収入合計額2億4、173万円から2億3、532万円を介護納付金として国に納め、収支差引額641万円を準備金として残金処分しました。

各収支科目の詳細は決算概要表をご覧ください。



介護勘定（介護保険分）